

令和4年度 学校自己評価のまとめ

高浜市立南中学校

1 本年度の取組

年2回の学校関係者評価委員会を予定どおり実施できた。

第1回：令和4年5月24日（火）

第2回：令和5年2月 9日（木）

2 自己評価（ 評価項目 A:十分達成、B:達成しつつある、C:不十分、D:ほとんど達成できていない ）

中期経営目標	短期経営目標	成熟度による成果指標	本校自己評価	
a 授業力向上	仲間とかかわることで自らの考えを深め、学び続ける意欲の醸成につながるよう、「学び合い」の授業の質を高める。	仲間とかかわりながら自らの考えを深めていくことができる授業	A	A
		学び続ける意欲の醸成	B	
b 学級経営力の向上	「級訓」「学級目標」を明確にし、一人一人の個性を生かしながら、集団としての成長につながる学級経営を行う	一人一人の個性を生かした学級経営	A	B
		目標に向かって成長を続ける学級集団の育成	B	
c 集団の中で課題を発見し解決する力をつけさせる指導力の向上	「生徒自治」の精神を継承・発展させ、学校生活全般にわたってリーダーを中心に生徒主体で計画・運営・評価しながら活動できる機会と場を保障する。	生徒主体の室長会、生徒会の活動	B	B
		リーダーとフォロワーが協調した活動の展開	B	
d まちづくりへの協働・貢献	まちづくりへの生徒の主体的なかかわりの場を保障し、地域と協働して活動する中で、地域の一員としての自覚を高める。	生徒が主体性を発揮しながら地域と協働する活動	B	B
		地域の一員としての自覚をもった姿	B	
特別な支援を要する生徒に対する指導体制の充実	指導組織の確立と実効性のある運用	特別な支援を要する生徒・不登校生徒の満足度		A
多忙化解消の推進	在校時間の縮減に向けて業務の見直しの推進	在校時間の縮減		B

3 次年度への課題・更新策

<授業力向上>

- ・研究発表を核にしてきたことで、教員同士に「学び合う」姿が確立された。研究発表での実践の積み上げを図って「南中学校オリジナル」を完成させていく。
- ・研究テーマである「学び続ける南中生」の研究はまだ道半ばである。主題研究推進委員会を中心とした協働的・組織的な研究組織を再構築し、「学び続ける南中生」の姿を意識した授業づくりを継続していく。道徳教育、情報モラル教育、総合的な学習の時間における授業開発も進めていく。

<学級経営力向上>

- ・各学級において「級訓」「学級目標」を意識した取組、振り返りができた。学校行事を生徒の個性の伸長や望ましい人間関係の構築、行事に対する自主的実践的な態度を育てるものとして位置づけていく。

<集団の中で課題を発見し解決する力をつけさせる指導力の向上>

- ・コロナ禍において、学校行事を中止することなく、ほとんど実施することができた。困難な状況に置かれても、教員や生徒が柔軟に創造し、問題を解決していく力がある。教員がファシリテーターとして生徒・学級・学年がもつ力を引き出すための場を作ることはもちろんのこと、そこで、支援を促進する次の一手が必要である。主任と若手教員がペアとなって指導することから始め、徐々に若手主体で運営できるように学年経営を立案させるなどして体制を構築する。

<まちづくりへの協働・貢献>

- ・生徒にとって街路樹ボランティアに参加をしたことでボランティア活動が終わったということではなく、これをきっかけに地域貢献活動への関心を持ち、他の行動ができる生徒を育てる。職員会などを通じて、本校の目指す生徒像を共有し、「地域とのかかわりを意識させる指導や活動を教育課程に位置づける」ということを共通理解を図っていく。

<特別な支援を要する生徒・不登校生徒に対する指導体制>

- ・指導体制が充実してきた。職員全体の研修を行ったり、現在の担当者から指導が受けられるうちに、少経験者に担当を任せたりして、個に応じた指導を担当者として経験する職員を増やしていく。校内フリースクールに向けた実施校の見学や講演会などを計画し、支援を要する生徒への指導力向上につなげていく。

<多忙化解消の推進>

- ・会議や研修の見直し
- ・朝礼を週1とし、朝はチャイムがなれば、各自教室へ行けばよいというシステムへの変更を検討
- ・学年会や職員打ち合わせは、月・木の部活がない日に設定

4 本年度の取組についての評価委員からの主な意見

- ・さまざまな工夫により学校経営が取り組んでいる。第1回の評価委員会の授業参観と比べて、生徒の成長を感じた。研究を通して積み上げてきた成果が教員や生徒の姿に見えてきている。
- ・学校の自己評価がAに届いていない項目もあるが、更新策が用意され、学校経営が進められている。「級訓」「学級目標」を学校評価の指標にするのは難しいので、検討するとよい。

5 自己評価を踏まえての次年度の重点目標（案）

重点目標	
自立した大人になるための基礎づくり ー南中文化の向上ー	
a	<b>授業力向上</b> 「学び合い」を通して学ぶことの達成感、充実感を感じさせ、将来の自立した学びにつながる授業を展開する。→継続
b	<b>学級経営力の向上</b> 「級訓」「学級目標」を明確にし、一人一人の個性を生かしながら、集団としての成長につながる学級経営を行う。→積極性を意識した「級訓」「学級目標」を作成し、自己肯定感、自己有用感が育つ学級経営を行う。
c	<b>生徒自治力の向上</b> 「生徒自治」の精神を継承・発展させ、学校生活全般にわたって、リーダーを中心に生徒主体で計画・運営・評価しながら活動できる機会、場を保障する。→継続
d	<b>まちづくりへの協働・貢献</b> まちづくりへの生徒の主体的な関わりの場を保障し、地域と協働して活動する中で、地域の一員としての自覚を高める。→継続